

都市再生整備計画(第6回変更)

みえまちえきしゅうへん
JR三重町駅周辺地区

大分県 ぶんごおおのし 豊後大野市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業	☐
まちなかウォークابل推進事業	☒

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	大分県	市町村名	豊後大野市	地区名	JR三重町駅周辺地区	面積	144.0	ha
計画期間	平成30年度～令和5年度	交付期間	平成30年度～令和5年度					

目標
大目標:豊後大野市の中心地として『交通結節点機能の形成』・『誰もが集える空間の形成』・『地域資源の活用』により集約型都市機能を高め、人が集い人とひとがつながり賑わいが創出できる都市環境づくりを目指す 目標1:駅利用者の交通の利便性を高め、交通結節点としての機能を有する都市環境の向上を図る 目標2:多世代が集い活気を感じることでできる空間を形成し、賑わいと交流が生まれるまちづくりを創出する 目標3:地域資源を活かした魅力づくりを行い、空洞化する中心市街地の活性化を図る
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・JR三重町駅周辺は、南西側に商業・業務地、市役所など行政の中心的機能などが集積し、その周辺に住宅市街地が形成、駅北側の高台にスポーツ施設群が整備されている。また、国道326号線や県道三重新殿線などの幹線道路に近接することから駅前の自動車通行量は多く、大分市内方面への通勤通学者、飲食・買い物などの歩行者も多い。このことから駅周辺は、交通のハブとしての都市機能も有している。 ・豊後大野市マスタープランのなかでは、少子高齢化に伴う人口減少対策として、都市機能を集約する「集約型都市構造」の形成や、既存市街地の再生・整備を進める「コンパクトな都市づくり」を目指している。 ・平成26年に発足したまちづくり市民会議『ぶんごおおの未来カフェ』では、市民が協働して本市の玄関口とも言える三重町駅周辺のまちの課題を洗い出し、解決策またはあるべき姿を検討・提案し、実践を試みるとともに、まちづくり活動を推進するネットワークの形成を目的として活動してきた。その「ぶんごおおの未来カフェ第1章」では、13回のワークショップをはじめ、まち歩き調査、グループ別活動、シンポジウム、更には社会実験を通じて、提案する企画・アイデアの実現の可能性を確かめるなど、約1年半にわたり活動し「ぶんごおおの未来まちづくり構想」をまとめた。また、平成28年度には「ぶんごおおの未来カフェ第2章」が行われ、8回のワークショップや社会実験、アンケート調査などの市民意見を通じて可能性を多角的にとりまとめた「三重町駅周辺まちづくり基本計画」が提案された。この中では三重町駅周辺の都市機能の向上や、魅力づくりを通じて人が集まり、人と人がつながる、心豊かに暮らせるまちづくりが基本理念とされている。この結果、三重町駅前の市街地だけでなく、三重町駅周辺の広範囲における住民からも活性化への期待が高まっているところである。 ・都市再生整備計画の策定にあたっては、上記のまちづくり組織をはじめ、庁内関係部署とも協議を行い計画の内容について確認を行った。
課題 JR三重町駅周辺には、商店や病院・公共施設が集積しているものの、交通機能等の整備が遅れているため、周辺地域から利用しづらい状況となっている。また、平成になり整備された新たな路線の開通に伴い、商業施設の郊外移転が進んだため、JR三重町駅を中心とした市街地では空洞化が進み都市としての求心力が低下している。具体的には以下のような課題があげられる。 ○魅力ある中心市街地にするため交通結節点としての都市機能の構築が必要である ・駅前通り(県道三重停車場線)など駅周辺の道路整備が求められている ・駅利用者のための駐車場整備が求められている ・駅への送迎で自家用車等が停車できるようなロータリー機能の検討が必要である ・駅利用者が公共交通等の二次交通を利用しやすくなるような仕組みの検討が必要である ○人が集まりやすく賑わいが見える空間の整備を検討を行う必要がある ・駅周辺に、たまり場や賑わいを感じることのできる場所の整備が求められている ・駅周辺に自由に利用することができる駐車場の整備が求められている ○地域の資源である空き店舗や空き地の有効活用を行い、中心市街地の活性化や魅力向上の検討が必要である ・点在する昔ながらの建築物の再生活用が望まれている ・空き店舗や空き地の利用が望まれている
将来ビジョン(中長期) ・第2次豊後大野市総合計画においては、中心市街地の活性化として魅力あるまちづくりを目指した市民会議の開催、空き店舗対策、また多くの人が訪れ活気のある中心市街地を形成するという方向が示されている。 ・豊後大野市マスタープランにおいては、拠点都市としての交通体系の充実や、人と文化の交流を進めたくましくいきいきした都市づくり等が目標に掲げられ、「効率的なネットワークの整備」や「市街地の再生・整備」、「集約型都市構造の形成」、「まちづくり組織の形成やリーダーの育成」などを進め、中心市街地としての都市機能の向上や魅力づくりを図る。 ・まちづくり市民会議『ぶんごおおの未来カフェ』による「三重町駅周辺まちづくり基本計画」では、鉄道により分断されている南北の往来を可能にする自由通路をはじめ、駅周辺の一体的な都市機能形成が示されている。

目標を定量化する指標								
	指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
	駅の乗降客数	人／年	JR三重町駅の年間乗降客数	交通結節機能の向上により利用者減少の改善を目指すため、JR三重町駅の乗降客数を指標とする	628,519	H27	625,300	R5
	近隣住民の駅周辺利用回数	%	近隣住民のアンケートにより駅周辺商店街を週1回以上利用すると回答した率	市街地活性化による商店街の魅力を向上させるため、近隣住民の駅周辺利用回数を指標とする	79.0	H28	90.0	R5
	イベントの開催数	回／年	JR三重町駅周辺における賑わいを創出するイベントの開催数	交流人口や地区外からの来訪者を増加させるため、JR三重町駅周辺における賑わいを創出するイベントの回数を指標とする。	1	H28	12	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
(整備方針1) 豊後大野市の玄関口として、JR三重町駅周辺の沿道や駅前広場の整備を行い都市機能の向上を図る。 駅利用者の乗り換えが便利になるよう、路線バスやコミュニティバス、タクシーの乗降場、自家用車乗降場を備えたロータリーを整備し、交通結節点としての都市機能を高め、駅利用者の利便性を向上させる。	・駅前上赤嶺線(基幹事業／道路) ・駅東広場(基幹事業／地域生活基盤施設) ・駅西駐車場(基幹事業／地域生活基盤施設) ・駅東駐車場(基幹事業／地域生活基盤施設) ・駅前広場トイレ(基幹事業／高質空間形成施設)
(整備方針2) 誰もが集え活気や賑わいを感じることのできる空間の形成 JR三重町駅の来訪者と市民や商店を結ぶ活動ができる場として駅西広場や駅西駐車場を整備し、誰もが自由に集え賑わいや交流が生まれる空間を形成する。	・駅前上赤嶺線(基幹事業／道路) ・駅西広場(基幹事業／地域生活基盤施設) ・駅西駐車場(基幹事業／地域生活基盤施設) ・JR三重町駅(基幹事業／滞在環境整備事業)
(整備方針3) 地域資源を活かした魅力づくりを行い、空洞化する中心市街地の活性化を図る JR三重町駅を改修し、まちなかハブとして整備することで、滞在時間の増加による中心市街地の活性化とJR利用者の増加を図る 既存トイレを建て替えることで、バリアフリー対応とし、駅及び周辺施設の高質な空間の形成と利用者の利便性の向上を図る。	・駅前上赤嶺線(基幹事業／道路) ・駅西駐車場(基幹事業／地域生活基盤施設) ・JR三重町駅(基幹事業／滞在環境整備事業) ・駅前広場トイレ(基幹事業／高質空間形成施設)
その他	
【まちづくりの住民参加】 ○まちづくり市民会議『ぶんごおおの未来カフェ』について (設立の目的) ・市民が協働してJR三重町駅周辺のまちの課題を洗い出し、解決策またはあるべき姿を検討・提案し、実践を試みるとともに、まちづくり活動を推進するネットワークの形成を目的として平成26年に設立された。 (ぶんごおおの未来カフェ第1章) ・期間:平成26年10月～平成28年2月 ・構成員:86名(高校生、学生、会社員、自営業、町内会、PTA、NPO等) ・主な活動:ワークショップ(13回)、まち歩き調査、グループ別活動、シンポジウム、社会実験を行い、以下について調査検討した ①まちの調査・研究 →魅力・課題の抽出・共有 ②まちづくりに関する提案 →解決策と方向性を検討 ③試験的取り組み検討・活動 →行動計画の検討 ・活動の結果より、駅周辺を6ゾーンに分けて方向性をまとめた「ぶんごおおの未来まちづくり構想」を市長に提案(平成28年3月25日) (ぶんごおおの未来カフェ第2章) ・期間:平成28年6月～平成29年2月 ・構成員:47名(高校生、学生、会社員、自営業、町内会、PTA、NPO等) ・主な活動:ワークショップ(8回)、まち歩き調査、グループ別活動、社会実験、アンケート調査を行い、以下について調査検討した ①駅周辺の調査・研究 →構想具体化に向けた課題の抽出・検討 ②基本計画(原案)づくり →活動(ソフト)、拠点(ハード)の検討 ③継続的取り組み検討・活動 →活動、整備計画の検討 ・活動の結果より、将来像の検討・提案を多角的にとりまとめた「三重町駅周辺まちづくり基本計画」を市長に提出(平成29年3月22日) 【官民連携事業】 ※都市再生整備計画区域内で、道路占有特例、河川敷地占有、歩行者経路協定、都市利便増進協定を活用する場合には記載する。	

様式(1)-④-2

(金額の単位は百万円)

統合したB/Cを記入してくだ

...A

合計(A+B)	221.6
---------	-------

...B

00

様式(1)-④-3

(金額の単位は百万円)

...A

...B

合計(A+B)	524.6
---------	-------

150

JR三重町駅周辺地区(大分県豊後大野市)	面積	144.0(3.8) ha	区域	豊後大野市三重町市場の一部、赤嶺の一部、内田の一部、玉田の一部、百枝の一部
----------------------	----	---------------	----	---------------------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

